



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 日本空調サービス株式会社 上場取引所 東名  
 コード番号 4658 URL <https://www.nikku.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田中 洋二  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理部長（氏名） 横井 智明（TEL） 052-773-2511  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,252	△4.7	278	△50.2	315	△46.9	108	△66.6
2020年3月期第1四半期	10,759	10.2	557	58.1	594	53.6	325	64.6

（注） 包括利益 2021年3月期第1四半期 571百万円（30.1%） 2020年3月期第1四半期 439百万円（26.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	3.08	3.03
2020年3月期第1四半期	9.26	9.09

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	31,007	18,493	58.5
2020年3月期	33,009	18,459	54.8

（参考） 自己資本 2021年3月期第1四半期 18,125百万円 2020年3月期 18,101百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	12.50	—	15.50	28.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	12.50	—	12.50	25.00

（注） 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	△1.4	2,800	△9.8	2,900	△9.8	1,750	△7.9	49.67

（注） 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、業績管理を年次で行っているため、第2四半期（累計）の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	35,784,000株	2020年3月期	35,784,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	551,817株	2020年3月期	551,817株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	35,232,183株	2020年3月期1Q	35,092,583株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外での新型コロナウイルス感染拡大を受け、製造業・非製造業ともに企業の景況感が大幅に悪化し、それらを背景に設備投資の先送りや規模縮小が生じました。国内外で段階的な経済活動再開の動きがみられるものの、足元では新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向で推移するなど、依然として予断を許さない状況です。

このような経済環境の中、ビルメンテナンス業界においては、省エネや省コストに加え、病院での手術室の無菌化や院内感染の防止、製薬工場や再生医療研究所等でのバリデーションサポートといった高度な技術力に対し関心が高い一方で、施設の維持管理コストの見直し意識の高まりが強くなっている状況です。

当社グループにおいては、サービスを提供する現場でのお客様との接点を最重要視し、状況に応じた感染症防止対策を講じつつ、当社のノウハウを活かした「設備及び環境診断・評価」「ソリューション提案(省エネ・省コスト提案、環境改善提案)」を通じてお客様の潜在ニーズの掘り起こしに努め、新規物件の獲得や既存契約の維持に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴い工場等一部施設への入場が制限され、メンテナンス及び工事業務が延期となったことなどにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,252百万円(前年同期比4.7%減)となりました。利益面につきましても、新型コロナウイルスの感染防止対策費用や当社グループの病院現場従事者に対して慰労金を支給したことなどにより、営業利益は278百万円(同50.2%減)、経常利益は315百万円(同46.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は108百万円(同66.6%減)となりました。

なお、当社グループは、建物設備のライフサイクルに合わせて、メンテナンスサービスとリニューアル工事を一体化した事業活動を展開しており、当該事業以外の事業について重要性が乏しいことから、報告セグメントを単一としております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は17,168百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,424百万円減少しました。これは主に現金及び預金が1,237百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が4,103百万円減少したことなどによります。固定資産は13,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ422百万円増加しました。

この結果、総資産は31,007百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,002百万円減少(6.1%減少)しました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は8,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,035百万円減少しました。これは主に未払費用が461百万円増加し、支払手形・工事未払金等が1,392百万円、未払法人税等が579百万円、短期借入金が502百万円それぞれ減少したことなどによります。固定負債は前連結会計年度末から大きな変動はなく、3,756百万円となりました。

この結果、負債合計は12,514百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,035百万円減少しました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は18,493百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.8%から58.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症に端を発する世界経済の大きな減速が懸念され、先行き不透明な状況で推移するものと予想しております。当社グループの中核事業である建物設備メンテナンスは、外部要因の変動に需要が左右されにくい面はあるものの、その重要な補完的役割を担う建物設備工事につきましては、お客様の設備投資計画に一定程度依存しております。新型コロナウイルス感染症の更なる拡大や長期化等から設備投資の縮小が懸念され、当社グループの事業活動に影響を及ぼす可能性があります。

足元の状況につきましては、国内外各拠点にて従業員の感染リスクの低減と安全確保を図りながら事業活動を実施しておりますが、お客様の施設への訪問制限による新規営業活動の難しさや入場制限による作業延期等の影響が出てきております。また、海外では各国の外出規制等により事業活動の制限を受けている地域もありますが、国内外ともに環境保全に関心が高まっている昨今におきましては、省エネや省コスト等に関する顕在及び潜在ニーズの高い状況が継続しております。

このような経営環境の中、当社グループは、「お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する」という経営理念に基づき、お客様との接点を最重要視し、「設備及び環境診断・評価」「ソリューション提案(省エネ・省コスト提案、環境改善提案)」に注力することで、建物設備メンテナンス及び建物設備工事の受注拡大を図ってまいります。また、2019年4月に新設した「医薬施設管理部」を中心として、製薬・再生医療業界へのアプローチ強化に向け、最適な施設環境を提供するための技術者育成に注力し、将来の中核事業とすべく基礎作りを進めてまいります。海外展開につきましても、効果的なグループネットワークの活用、技術力及び提案力の強化を継続し、積極的な新規顧客開拓による事業基盤確立を目指します。

2021年3月期の連結業績予想は、売上高49,000百万円(前連結会計年度比1.4%減)、営業利益2,800百万円(同9.8%減)、経常利益2,900百万円(同9.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,750百万円(同7.9%減)としております。

なお、今後の見通しにつきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の事態収束を正確に見通すことは困難であるため、当該影響が上半期まで続くと仮定した数値としております。今後の業況変化等により、業績予想の修正が必要になった場合は、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,020	7,258
受取手形・完成工事未収入金等	11,581	7,477
電子記録債権	710	832
たな卸資産	671	917
その他	610	682
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	19,593	17,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,952	2,920
土地	3,965	3,965
建設仮勘定	1	2
その他(純額)	1,544	1,526
有形固定資産合計	8,464	8,415
無形固定資産		
ソフトウェア	219	203
その他	18	18
無形固定資産合計	237	222
投資その他の資産		
投資有価証券	3,837	4,546
その他	882	660
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	4,713	5,201
固定資産合計	13,416	13,839
資産合計	33,009	31,007

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,453	3,060
電子記録債務	1,242	1,163
短期借入金	532	30
1年内返済予定の長期借入金	448	357
未払金	243	233
未払費用	1,987	2,448
未払法人税等	756	176
役員賞与引当金	49	-
受注損失引当金	30	36
その他	1,051	1,251
流動負債合計	10,793	8,758
固定負債		
長期借入金	720	672
役員退職慰労引当金	201	208
執行役員退職慰労引当金	17	20
退職給付に係る負債	2,744	2,785
資産除去債務	47	48
その他	23	20
固定負債合計	3,755	3,756
負債合計	14,549	12,514
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,139	1,139
資本剰余金	1,133	1,133
利益剰余金	14,170	13,730
自己株式	△68	△68
株主資本合計	16,374	15,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,938	2,427
為替換算調整勘定	△18	△50
退職給付に係る調整累計額	△193	△186
その他の包括利益累計額合計	1,727	2,191
新株予約権	253	264
非支配株主持分	104	103
純資産合計	18,459	18,493
負債純資産合計	33,009	31,007

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,759	10,252
売上原価	8,742	8,443
売上総利益	2,016	1,809
販売費及び一般管理費	1,458	1,531
営業利益	557	278
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	32	31
その他	7	6
営業外収益合計	42	40
営業外費用		
支払利息	3	2
その他	2	0
営業外費用合計	5	2
経常利益	594	315
特別利益		
固定資産売却益	0	0
その他	-	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	4	-
特別損失合計	5	0
税金等調整前四半期純利益	590	316
法人税等	262	205
四半期純利益	327	110
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	325	108

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	327	110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	489
為替換算調整勘定	25	△35
退職給付に係る調整額	6	6
その他の包括利益合計	111	461
四半期包括利益	439	571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	433	572
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社であった株式会社日本空調東海は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。